

「アテナ..戦争の女神」 主演俳優たちが共同記者会見

「温かい歓迎に感謝」 「撮影をがんばります」



「アテナ：戦争の女神」
とは？

大韓民国を脅威に陥れようとするテロの勢力。テロに立ち向かう特捜部要員の運命と、謎に包まれた特捜部女性要員との愛を描いたアクションドラマ。

韓国の人気ドラマ「アイリス」の新シリーズ「アテナ..戦争の女神」の県内ロケのため、来日している主演俳優のチョン・ウソンさんやスエさんたちが九月十三日、望湖楼（はわい温泉）で共同記者会見を行いました。

チョン・ウソンさんは「自然が多い鳥取に好感を持ちました。多くの人から温かい歓迎を受けて感謝しています」、スエさんは「鳥取はソウルの近郊に似ていると感じました。皆さんから支援をいただいているので、残りの撮影もがんばりたいです」と、鳥取の印象と、撮影を支える人に対する感謝の気持ちを語りました。

九月十日から始まったロケは、町内ほか県内各所で行われたようです。

共同記者会見

R e p o r t

「アテナ：戦争の女神」

共同記者会見

鳥取、ドラマに対する 思いや意気込みが語られる

共同記者会見で、主演の2人以外の出席者が話した内容をお届けします。

イ・ジアさん 鳥取には初めて来ましたが、以前にも来たことがあるような感じがします。

キム・ミンジョンさん 多くの人から歓迎を受けて感謝しています。鳥取のきれいな景色をドラマの中で表現できると思います。

チョン・テウォン代表 夏のシーンの撮影のため、魅力のある場所を探していて鳥取と出会いました。

キム・ヨンジョン監督 鳥取ではラブシーンなどを撮影したいです。

キム・テフン監督 多くの人が撮影の協力をしてくださっています。いい作品を作りたいです。

平井伸治県知事 ドラマをきっかけとして観光客誘致のキャンペーンを展開したいです。新しい交流による観光の時代に「アテナ」という舞台をいただいたことに感謝しています。

韓国語講座・ロケ歓迎上映会

町内でロケ歓迎ムードが 高まる

9月2日、役場講堂で「やさしいハングル語講座」が開催され、50人が参加。ロケ隊やドラマ放送後に町を訪れることが予想される韓国観光客をもてなすために、あいさつ程度の韓国語を練習しました。



また、9月15日にハワイアロハホールでチョン・ウソンさんの代表作「私の頭の中の消しゴム」の上映会が開催されました。開場待ちの長い列ができたため、開場時間を繰り上げるほど大盛況でした。



①＝記者会見はリラックスした雰囲気の中で行われました。出席者は左から平井伸治県知事、キム・ヨンジョン監督、キム・ミンジョンさん、スエさん、チョン・ウソンさん、イ・ジアさん、キム・テフン監督、チョン・テウォン制作会社代表②＝チョン・ウソンさん③＝スエさん④＝イ・ジアさん⑤＝キム・ミンジョンさん

